Asian-Pacific Planning Societies 2022 国際会議　執筆要領

公益社団法人 日本都市計画学会　国際委員会

1. 体裁

A4 版用紙を用い、図表等も含め印字面積[ヨコ 150mm×タテ 237mm]の範囲内に、1 ページ当たり 45 行×1 段で執筆すること（余白：上下左右全て 30mm）。

2. 原稿分量

a）審査用 Abstract：2 ページ以内。必要に応じて、図表や参考文献等を記載しても良い。

b）Short Paper：4 ページ以内。

c）Full Paper：8 ページ以上 20 ページ以内。

3. 使用言語

・図表等も含め英語で執筆すること。

・スペル・文法等に誤りがないことを確認し、専門用語についても用語集や国・自治体の英文ウェブサイトや英文パンフレット等を参照し、広く受けいれられた訳語を用いること。

4. 構成とレイアウト

4-1 構成

原則、本会ホームページにあるテンプレートを使用して、次の順に従って執筆すること。

a）審査用 Abstract：タイトル、著者名、研究の背景・目的(Introduction)、方法(Methodology)、分析結果(Findings)、結論(Conclusion)を記載。必要に応じて、図表の挿入、参考文献(References)等を記載。フッター部分に所属と E-mail を記載。

b）Short Paper：タイトル、著者名、Abstract（200words 程度）、Keywords（3～6 つ）、本文（図表を含む）、謝辞・補注（必要な場合）、参考文献等を記載。1 ページ目のフッター部分に所属と E-mail を記載。

c）Full Paper：1 ページ目に「タイトル、著者名、Abstract（400words 程度）、Keywords（3～6 つ）、フッター部分に所属と E-mail」を、2 ページ目以降に「本文（図表を含む）、謝辞・補注（必要な場合）、参考文献等」を記載。

4-2 文字

・数式、図表中の文字を含め、ワープロソフト等で作成すること。手書きは認めない。

・以下のような機種依存文字を使用する場合は、文字化けする可能性があるので、注意すること。

[機種依存文字の例]

①②③④⑤ ⅠⅡⅢⅣⅤ ⅰⅱⅲⅳⅴ 等

4-3 タイトル

フォントは Times New Roman、文字の大きさは 14 ポイントを基本とし、中央揃えとすること。キャピタライゼーションは以下のルールに従うこと。

－タイトルの最初の単語の先頭を大文字にする

－名詞、代名詞、動詞、形容詞、従属接続詞*1、副詞の最初の文字を大文字

－冠詞*2、等位接続詞*3、前置詞や不定詞の to は小文字とする（前置詞の場合は 5 字以上の場合は大文字でも良いものとする）

*1 従属接続詞：although、once、since、that、until、when 等

*2 冠詞：a、an、the

*3 等位接続詞：and、but、or、not、yet、for

4-4 Abstract、Keywords、本文

・フォントは Times New Roman、文字の大きさは 11 ポイントを基本とし、章タイトルはボールドとする。各章の直後の行は、最低 1 行は空けること。

・本文は左右の端を揃えとすること。

4-5 図・表・写真

・表には、その上の中央に Table-1 のような続き番号とタイトルを、図・写真には、その下の中央にそれぞれ Figure-2、Photo-3 のような続き番号とタイトルを記載すること。

・表に用いた単位や既往研究・報告等からの引用または転載の場合はその出典を必ず明記すること。

4-6 補注、参考・引用文献

・既往研究・報告等から、その文、データ、図表等を引用または転載する場合は、すべての出典を必ず明記すること。

・判読できる場合に限り小さい文字を用いることもできる。ただし、ポイントは 10 ポイント、行間は 12pt を最低値とする。

・補注（Notes）を必要とする場合は(1)、(2)、･･･(n)の記号で本文該当箇所に上付きで示し、参考・引用文献リストの前にまとめて掲載すること。

・参考･引用文献（References）は本文に特に関わりあるものにとどめ、1)、2)、･･･n)の記号で本文該当箇所に上付きで示し、参照順に文末にまとめて掲載すること。

・参考・引用文献が日本語等の非英語で執筆されている文献で、英文タイトル等の記載がない文献においては、著者にて英訳を行い、英文タイトル等の原語を必ず併記すること。

[記載方法例]

論文の場合：著者名（年），“タイトル”，*学術雑誌名*，巻(号)，ページ番号(DOI など).

*著者が 2 人以上の場合，第一著者は姓，名の順。第二著者以降は名，姓の順と記載するのが慣例。学術雑誌名はイタリックにする。

単行本の場合：著者名（年），“*本の名前*”，出版地：出版社名

*著者が 2 人以上の場合，第一著者は姓，名の順。第二著者以降は名，姓の順と記載するのが慣例。本の名前はイタリックにする。

ウェブサイト：著者名，ウェブページのタイトル, URL，最終アクセス年月日

5. 提出

必ず PDF 形式で提出すること。

[お問い合わせ]

公益社団法人日本都市計画学会 国際委員会 ICAPPS2022 係

TEL: 03-3261-5407／E-Mail: icapps@cpij.or.jp／URL: https://www.cpij.or.jp/